

日本の対ASEAN農林水産業協力事業



2018年2月
ASEAN日本政府代表部

- 日本は食料安全保障、フードバリューチェーン（FVC）構築を中心に、これまでASEANに対する農林水産業協力を展開。
- また、ASEANの各加盟国に対しても、JICAを通じた技術協力や農業政策対話など、多様な協力を実施。

（代表例1）

ASEAN諸国の大学と連携した人材育成支援事業

- 主にASEAN諸国の大学生を対象に、日本から種苗産業、農業や食産業分野の専門家を派遣する講義プログラムを実施
- 日本の優れた技術、サービス等に関するより実践的な知識・技術について継続的に教育
- これまで日本からASEAN地域に延べ2百名以上の専門家を派遣し、2千人以上に対して講義を実施

2014年に第1フェーズを開始し、現在第2フェーズを実施中（～2020年）



【ASEAN各国の連携大学】



【マレーシア(UPM)での講義】

（代表例2）

ASEAN諸国の農業部門における人材育成強化事業

- ASEAN諸国のニーズに対応し、日本人専門家を派遣してFVCの各段階における人材育成のための研修を実施
- ASEAN諸国におけるFVC共通認識の向上を目的として、我が国企業により、FVC取組に関するセミナーを実施
- これまで約1千人の農業関係者等が研修に参加。研修後、各参加者は自国で研修成果を普及する活動を実施

2011年に第1フェーズを開始し、現在第3フェーズを実施中（～2020年）



【研修修了者による現地普及活動】



【日本人専門家による現地指導】

（その他のASEAN農林水産業協力事業）

- ◆ ASEAN+3緊急米備蓄体制確立拠出金事業
- ◆ ASEAN地域における食品加工・流通統計整備支援事業

- ◆ 東南アジア地域持続的水産業推進事業
- ◆ ASEAN諸国等における政策提言に向けた農産物高付加価値化推進のための調査研究事業